



MITSUKE 70<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY

1954 ▶▶ 2024

# 見附市が目指す 部活動の地域移行とは？

地域の子どもたちの新たな活動機会の創出に向けて



見附市・見附市教育委員会

# 地域移行って何のことですか？

最近、「部活動の地域移行」って聞くけど、どういうことなのかな？  
ウチの子の部活はどうなるの？



その、中学校の部活動の地域移行なんですけど、これまで学校が主体となってきた部活動が、新たに地域の皆さんが主体となって活動する地域スポーツクラブや地域の文化クラブに活動の形態が変わることをいうんですよ。

地域移行について、くわしく見ていきましょう！



ふーん、そうなんだ！

# 見附市の現状は怎なの？

## 子どもの数が減り、子どもたちの活動の場が減っています！

見附市でも少子化が深刻化する全国的な傾向にたがわず、中学校の生徒数も以前に比べて大きく減少しています。部活動に必要な最低限の人数が集まらず、部活動の継続が難しくなり、休部や廃部せざるを得ないケースも出てきています。例えば、現在、野球部があるのは市内4校中2校、サッカー部は1校だけとなっています。市内中学校生徒数の推移



これにより、子どもたちがやりたい活動の体験機会が失われるおそれも出てきています。

子どもたちのやってみたい！という意欲に応えられず、それにより子どもの健全な成長の機会が失われるとしたら、将来にわたっての大きな損失といえます。また、長時間勤務や専門外の種目の指導など、教員への負担も大きく、教員の働き方改革を進めていく必要があります。

地域の皆さんの協力を得て、将来に渡って子どもが継続的にスポーツ・文化芸術に親しむ機会を確保・充実していく必要があります。

# 地域移行（地域展開）で何がどう変わるの？

学校の枠を超え、共創郷育の理念のもと地域で子どもを育てる！

地域移行（地域展開）とは、部活の指導者が、単に学校の先生から地域の指導者になるということではなく、学校、家庭を含めた地域全体で子どもを育てる「人づくり」の活動といえます。



## まずは休日の部活動を 地域に移行(展開)

※国では、活動を広く地域に開き、地域全体で支え、新たな価値を創出するという観点から、地域移行を「地域展開」に名称変更しました。



地域移行(地域展開)のメリット  
○学校部活動→地域社会の活動にすることで継続した取組みへ  
○学校の垣根を越えた交流機会の拡大による子どもたちの成長へ  
○専門的な指導者による良質な指導  
○教員の負担軽減による働き方改革の実現へ



## 地域で多様な体験機会を提供

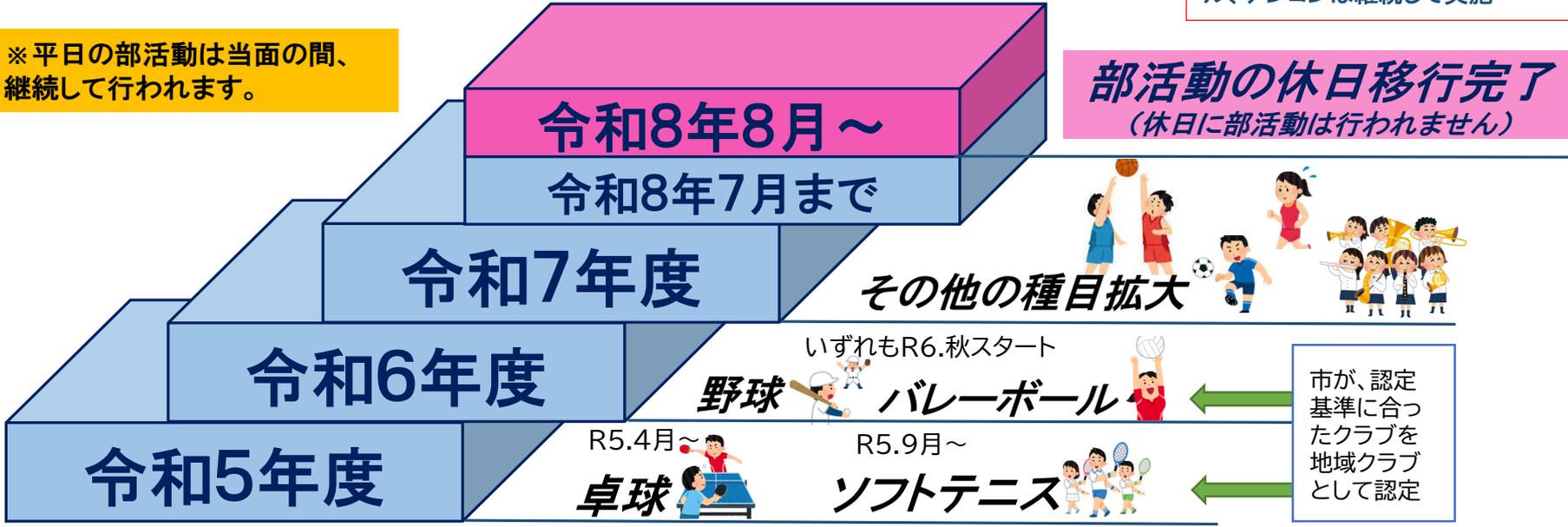
# 見附市はどう進めていくの？

## 令和8年8月以降、休日の部活動は行いません

「見附市中学生の地域スポーツ・文化活動検討委員会」（委員長・西原康行 新潟医療福祉大学副学長。中学校長、PTA関係者、スポーツ関係者らで構成）では、「令和8年度には休日の部活動を実施しない状態を目指す」という令和4年度の環境整備方針から一歩進めて、「**令和8年8月以降、休日の部活動を行わない**」という方針を決定しました。

※平日の部活動は当面の間、継続して行われます。

各種大会のうごき  
令和7年度 長岡地区新人大会 実施せず  
令和8年度 県央地区新人大会 実施せず  
令和9年度以降、一部種目を除き 全中大会は継続実施  
  
令和7年度以降、吹奏楽コンクール、アンコンは継続して実施



**部活動の休日移行完了**  
(休日に部活動は行われません)

→ 令和8年8月以降、休日の部活動が行なわれなくなり(平日の部活動は当面継続)、これに伴い、大会・コンクール等は、原則、地域スポーツクラブ・文化クラブで出場することになります。

# 子どもたちに新たな体験と成長の場を！

ぜひ地域スポーツクラブ・文化クラブ活動にご協力ください！

専門のスポーツ・文化芸術指導者による指導、他校生徒との交流や地域の方との多世代間交流など、部活動とは異なる数々のメリットがあるこの地域クラブ活動を、地域の皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えています。技術的指導のほかに活動の見守りなど、市民の皆さんからのお力を借りながら進めていきたいと考えていますので、何とぞご協力のほどよろしくお願いいたします。



地域スポーツクラブ指導者から熱心な指導を受ける子どもたち

(写真左) 西中学校での卓球の練習風景

(写真右) 冬場のゲートボール場でのソフトテニスの練習風景

充実した中学校  
生活送ってねー！

